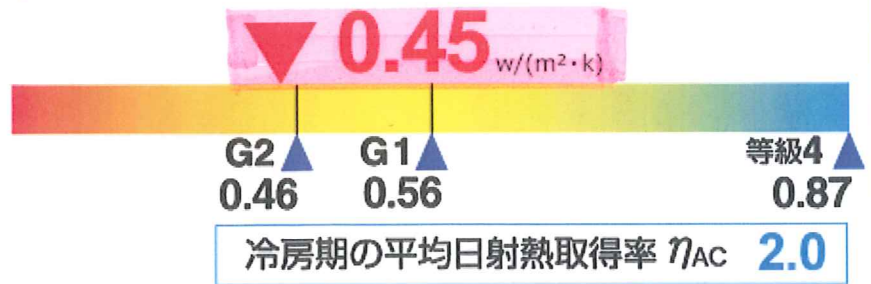


HEAT20グレード



2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会

この住宅の外皮平均熱貫流率 U_A



地域区分：6

HEAT20 外皮性能グレードと住宅シナリオ (2015年12月版)

NEB 冬期間の室内温度環境

冬期間、住宅内の体感温度が15℃未満となる割合

外皮性能グレード	1,2地域	3地域	4~7地域
(参考) 平成25年基準レベルの住宅	4%程度	25%程度	30%程度
G1	3%程度	15%程度	20%程度
G2	2%程度	8%程度	15%程度

冬期間の最低の体感温度

外皮性能グレード	1,2地域	3地域	4~7地域
(参考) 平成25年基準レベルの住宅	概ね10℃を下回らない	概ね8℃を下回らない	
G1	概ね13℃を下回らない	概ね10℃を下回らない	
G2	概ね15℃を下回らない	概ね13℃を下回らない	

EB 省エネルギー性能

暖房負荷削減率 (平成25年基準レベルの住宅との比較)

外皮性能グレード	1,2地域	3地域	4~7地域
G1	約20%削減	約30%削減	
G2	約30%削減	約40%削減	約50%削減

全館連続暖房方式における暖房負荷削減率 (平成25年基準レベルの住宅との比較)

外皮性能グレード	1,2地域	3地域	4,5地域	6,7地域
G1	約10%削減	約10%増加	約30%増加	約50%増加
G2	約20%削減	約10%削減	H25年基準レベルと概ね同等のエネルギーで全館暖房が可能	

注) 上記値は、各地域の代表都市にて検証したシミュレーション結果です。日照条件や地域の気候特性、住宅プランにより設定 U_A 値での実現度合は異なります。